

第4学年 総合的な学習活動案

1. 単元名 ○○の自然・環境を見つめて ～バリアフリー大作戦～

2. 活動にあたって

こんな子どもだから

本学級の子どもたちは、今までに「発見！◇◇川」や「クリーン大作戦」の学習の中で、地域の自然や環境に親しみを感じ、関心をもつことができるようになってきた。○○川を大事にされてきた地域の方のお話を聞いたり、校区をきれいにしようとゴミ拾いを一緒にしたりという活動を通して、「自分たちにもできることがあるのではないか」「誰かのためになることをしていきたい」と考えられるようになってきている。

自分の追究したい課題を選択し、友だちと協力して追究活動を進める経験をし、分かったこと・考えたことをまとめて発表してきた。もっと相手に分かりやすく、効果的に伝えられるようになりたいという意識も高まってきている。

この単元で

本単元では、障がいをもっている人たちへの理解を深めるだけでなく、「自分たちの○○校区が障がいをもっている人だけでなく、全ての人にやさしい町になっているか」という視点で考えられるようにすることをねらっている。校区にある○○特別支援学校との近隣校交流や居住地交流で、障がいをもっている友だちとのふれあいを楽しんだり、様々な福祉体験（車椅子・アイマスク・点字・手話など）を行ったりした上で○○校区を見直させ、全ての人にやさしい町になるために自分ができること（バリアフリー作戦）を考えられる単元である。

また、国語科「伝え合うということ～手と心で読む～」で学んだ「筋道立てて話し、分かりやすく伝える力」を、交流活動の場面で生かすことができると考える。

こんな支援で

○ 子どもたちが主体的に追究活動を行えるよう、体験活動をもとにした課題を各自で設定させる。自分の興味・関心に応じた課題を選択することで、意欲をもって追究活動に取り組めるようにする。各自の課題に沿った図書資料やインターネットなどを、ふり返しカード等から把握しておき、追究活動の意欲を持続できるように、揃えておきたい。また、校区に出かけ様々な施設を調べることで、自分たちの校区環境を福祉の視点から考えられるようにしたい。

○ 追究課題や追究方法・計画・発表の方法・まとめなど、各学習過程で自分の考えを友だちに伝える場を設定し、考えを深めたり広げたりできるようにする。その際、自分の考えを伝えやすいように、はじめ・中・終わりの簡単な組み立てで書ける学習プリントを用意しておきたい。また、国語科で学習した内容をふり返られる掲示物を準備しておくことで、話の中心に気をつけて聞き、友だちの発表と自分が調べたことや考えたことを比べて自分の感想をまとめることができるようになると考えている。

○ 追究してきた内容を発表するための「○○って『人にやさしい町』発表会」の場を設定し、写真・グラフ・絵・図などを用い、自分が調べてきた内容を根拠をはっきりさせて発表できるようにする。発表会に使う情報を取捨選択させ、発表を焦点化させていきたい。

こんな力を

【表現する力】友だちの考えと同じ所や違う所を比べて感想を話したり、自分が調べたことを、根拠をはっきりさせて発表したりすることができる。

【追究する力】自分の興味・関心に応じて課題や追究方法を選択し、様々な方法でバリアフリーについて調べたりまとめたりすることができる。

【共に学ぶ力】友だちの良さや頑張りを認めながら協力し合ったり、良い所を参考にしたりしながら活動することができる。

【関わる力】バリアフリー体験に主体的にかかわる活動を通して、○○校区が“人にやさしい町”になっているかを見直し、自分のバリアフリー作戦を考えることができる。

3. 主な学習活動と評価規準および教師の支援（26時間）

学習時間 (配時)	主な学習活動と内容 (生かしていく国語科の表現する力)	評価規準	教師の支援
つかむ (11)	<p>1. ○○が人にやさしい町かどうか考え、自分の追究したい課題を選択・決定する。</p> <p>○自分たちが考える「やさしい町」について①</p> <p>○試し体験 ⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南福岡特別支援学校との交流 ・車いす・点字・手話 ・アイマスク (校区散策) 	<p>【追】 バリアフリーに関して追究してみたい課題を自分で選ぶことができる。(学習プリント)</p> <p>【共】 友だちと協力して、課題追究の方法・計画を立てることができる。(学習プリント)</p>	<p>※ 試しの体験を全員で行うことで、バリアフリーの基本的な事柄を共通理解させる。</p> <p>※ 課題を一人ひとりにもたせるが、同じ課題毎にグループを作らせ、追究活動がしやすいようにする。</p>
調べよう！ ○○って「人にやさしい町」！？			
さぐる (11) 本時 22 ／ 26	<p>○課題選択・追究方法・計画 ①</p> <p>○課題・追究方法の全体交流 ①</p> <p>(少人数での話し合いで、自分の課題・追究方法・計画について交流する。)</p>	<p>【表】 試し体験を通して、もっと追究したいと考えた自分の課題・追究方法を筋道立てて話すことができる。(行動観察)</p>	<p>※ ○○が障がいをもっている人だけでなく、誰にでもやさしい町になっているかを追究していくために自分の課題をはっきりさせ、交流の場を設定する。</p>
ふり返る (4)	<p>3. 「○○って『人にやさしい町』！？」で自分のバリアフリー作戦を考え、学習のまとめをする。</p> <p>○自分の考えのまとめ①</p> <p>○自分にできることを実行 ②</p> <p>○学習のふり返り ①</p> <p>(独話形式の話し合いで、自分のバリアフリー作戦を伝える。)</p>	<p>【表】 自分のバリアフリー作戦を、調べてきたことをもとに話すことができる。(行動観察)</p> <p>【関】 自分の○○バリアフリー作戦を考え、積極的にかかわることができる。(行動観察)</p>	<p>※ 今までの体験や追究活動をもとに考えられるよう、学習プリントをまとめさせておく。</p> <p>※ 子どもたちが考えるバリアフリー作戦を実行できるように、地域の方と綿密に連絡を取る。</p>

5. 本時目標

- 「〇〇って『人にやさしい町』!？」について追究してきたことを，自分のこだわりの根拠が分かるように話すことができる。 【表現する力】

6. 本時指導の考え方

本時までには，子どもたちは特別支援学校訪問や，車いす・アイマスク・点字・手話などの様々な試しの共通体験をしてきた。追究する際には，「障がいをもっている人だけでなく，自分達も含め，〇〇校区全ての人にやさしい町『〇〇』」かを，施設見学したり，使っている人にインタビューしたりしてきている。

本時では「〇〇って『人にやさしい町』発表会」を行い，これまでの追究活動を分かりやすく伝えることをねらいとしている。独話形式で，調べた場所毎に発表する交流活動を仕組みば，自分の考えを深めたり広げたりすることができると考えている。

まず，今までの追究活動をふり返り，本時めあてについて話し合う。前時までの学習プリントを参考にさせたり，活動の様子を写真等で掲示したりして，自分がこだわって追究してきたことをもとに話せるようにしたい。

次に，独話活動による話し合いを行わせる。様々な視点をもって異なる施設・地域を調べてきているので，調べた場所毎に発表させることで，お互いの考えを比べ，自分の考えを深めたり広げたりすることができると考えている。独話形式で質問をしたり，意見を出したりするのは〇〇タイムでも慣れているので，発言しやすいと考える。

最後に，公民館館長の〇〇さんの話をうかがい，「〇〇に住む自分達にもできるバリアフリー作戦」を考えさせるようにしたい。〇〇さんには，子どもたちの追究活動を賞賛していただき，施設面だけでなく，人とのかかわりが，この〇〇校区をやさしい町にしていることを話していただくようお願いしておき，最後のバリアフリー作戦への意欲をもたせられるようにしたい。

この学習では，国語科「伝え合うこと～手と心で読む～」における「自分が体験してきたことや調べたことを筋道立てて発表したり，友だちの考えと同じ所や違う所を比べて感想を話したりすることができる力」が交流の場で活用できるように，学習したことを教室側面に掲示することで支援していきたい。

7. 準 備

(児 童) 前時までの学習プリント

(教 師) 体験活動の写真，学習プリント (自己評価カード)

8. 本時学習の展開

主な学習活動と内容	教師の支援
<p>1. これまでの学習をふり返り、本時のめあてを確認するために話し合う。</p> <p>○ これまでの追究活動の想起</p>	<p>※ 前時までの学習プリントを持たせ、話す見通しをもたせておく。</p>
<p>めあて</p> <p>「〇〇って『人にやさしい町』発表会で、自分が調べた「やさしい町」を伝えよう。</p>	
<p>2. 独話形式による話し合いを行う。</p> <p>○ 異なる場所を調べた児童の発表</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>私は、〇〇校区は誰にでもやさしい町だと思いました。インタビューしてみると、困った時に声をかけてくれる人がたくさんいると分かったからです。お店の人も、いつも何か手伝えることはないかと、周りを気にかけているそうです。私たちの質問に色々と答えてくれました。</p> </div>  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>ぼくは、楽しい時間があると、友だちにもやさしい気持ちになります。夏祭りが楽しかったので、どんな風に計画されたのか調べてみました。楽しい時間がある〇〇校区は、やさしい町だと思います。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>どの施設も広く作ってあったり、いろんな人のことを考えて工夫されていたりしたよ。その場所を気持ちよく使えることが大切だと思うな。ぼくにできることは何かな。バリアフリー作戦で、何ができるかな。</p> </div>  </div>	<p>※ 話し合いがスムーズに進むように、司会進行を教師が行う。</p> <p>※ 同じ場所を調べた4～5人が近くに座ることで、調べたことを確かめ合ったり、自分の考えを発表したりしやすいようにする。</p> <p>※ 板書で、発表児童の考えを整理し、聞いている児童が自分の考えと比べやすいようにする。</p> <p>※ 発表児童の考えをメモできるような学習プリントを用意する。</p> <p>※ 次のバリアフリー作戦につなげるために、考えができていない児童を賞賛する。</p>
<p>評価規準</p> <p>【表】 「〇〇って『人にやさしい町』!？」について追究してきたことを、こだわりの根拠が分かるように話すことができる。(行動観察・学習プリント)</p>	
<p>3. 公民館館長 〇〇さんのお話を聞く。</p> <p>○ これまでの追究活動</p> <p>○ やさしい町づくりに欠かせない人とのかかわり</p> <p>4. 学習のまとめをする。</p> <p>○ 学習のふり返り</p> <p>○ 次時学習の確認</p>	<p>※ バリアフリー作戦につなげるような話を〇〇さんにしていただく。</p> <p>※ 次時の見通しがどれくらいもてたかを学習プリントで確かめられるようにしておく。</p>